

小语种日语：一级阅读3 PDF转换可能丢失图片或格式，建议  
阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/146/2021\\_2022\\_\\_E5\\_B0\\_8F\\_E8\\_AF\\_AD\\_E7\\_A7\\_8D\\_E6\\_c105\\_146548.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/146/2021_2022__E5_B0_8F_E8_AF_AD_E7_A7_8D_E6_c105_146548.htm) 大きな国と、それよりすこし小さな国とが、となり合っていました。当、その二つの国のには、何事も起こらず、平和でありました。ここは、都から国境であります。そこには、方の国から、ただ一人ずつの兵が派遣されて、国境を定めた石碑を守っていました。大きな国の兵士は、老人でありました。そうして、小さな国の兵士は青年でありました。二人は、石碑の建っている右と左に、番をしていました。いたってさびしい山でありました。そして、まれにしか、そのを旅する人影は、られなかったのです。初め、たがいにを知り合わないは、二人は、か味方かというような感じがして、ろくろくものも言いませんでしたけれど、いつしか二人は、仲良しになってしまいました。二人は、ほかにをする相手もなく、たいくつであったからであります。そして、春の日はく、うららかにの上に照りかがやいているからでありました。ちょうど国境の所には、だれが植えたということもなく、一株の野薇が茂っていました。その花には、朝早くからみつばちがんできて集まっていました。その速い羽音が、まだ二人のねむっているうちから、心地に耳にこえました。「どれ、もう起きようか。あんなに蜜蜂がきている。」と、二人は、申し合わせたように起きました。そして、外へでると、果して、太は、木の梢の上に元よくかがやいていました。二人は、岩からき出る清水で口をすすぎ

、をあらいにまいりますと、を合わせました。「やあ、おはよう。いい天でございますな。」「本当にいい天です。天がいいと、持ちが清々します。」二人は、そこで、こんな立ちをしました。互いにをあげて、りの景色をながめました。日ている景色でも、新しい感じを、るたびに心にあたえるものです。青年は、最初、将棋のみ方をしりませんでした。けれど、老人についてそれを教わりましてから、このごろは、のどかな昼ごろには、二人は、日向かい合って、将棋を指していました。初めのうちは、老人のほうがずっとくて、こまを落として指していましたが、しまいには、当たり前に指して、老人がかされることもありました。この青年も老人も、いたっていい人々でありました。二人とも正直で、切でありました。二人は、一生命で将棋の上で争っても、心は打ち解けていました。「やあ、これはおれのけかいな。こう逃げけては、苦しくてかなわない。本当の争だったら、どんなだかしれん。」と、老人は言って、大きな口をけてわらいました。青年はまた、ち味があるので、うれしそうなつきをして、一生命に目をかがやかしながら、相手の王を追っていました。小は、梢の上でおもしろそうに歌っていました。白い薔の花からは、よいかおりを送ってきました。冬は、やはりその国にもあったのです。寒くなると、老人は、南の方をこいしがりました。その方には、せがれやが住んでいました。「早く、ひまをもらってりたいものだ。」と、老人は言いました。「あなたがおりになれば、知らぬ人がかわりに来るでしょう。やはり切なやさしい人ならいいが、味方というような考え

を持った人だどこまります。どうか、もうしばらくいてください。そのうちには、春がきます。」と、青年は言いました。やがて、冬が去って、また春となりました。ちょうどそのころ、この二つの国は、何かの利益から争を始めました。そうしますと、これまで、日なかむつまじくくらしていた二人は、味方のがらになったのです。それが、いかにも不思議なことに思われました。「さあ、お前さんとわたしは、今日からかたきどうしになったのだ。わたしは、こんなに老いぼれていても少佐だから、わたしの首を持っていけば、あなたは出世ができる。だから、してください。」老人は言いました。これをくと、青年はあきれたをして、「何を言われますか。どうして、わたしとあなたとがどうしでしょう。わたしのは、ほかになければなりません。争は、ずっと北の方でかれています。わたしは、そこへ行っています。」と、青年は言い残して、去ってしまいました。国境には、ただ一人、老人だけが残されました。青年のいなくなった日から、老人は、呆然として日を送りました。野薇の花がさいて、蜜蜂は、日が上がってからくれるまで群がっています。今、争はずっとくでしているので、たとえ耳をすまして、空をながめても、の音もこえなければ、いけむりのかげすらみられなかったのであります。老人は、その日から、青年の身の上を案じていました。日はこうしてちました。ある日のこと、そこを旅人が通りました。老人は、争について、どうなったかとたずねました。すると。旅人は、小さな国がけて、その国の兵士はみなしになって、争はわったということを告げました。老人

は、そんなら青年も死んだのではないかと思いました。そんなことをにかけながら、石碑のにこしをかけてうつむいていますと、いつか知らず、うとうとと居眠りをしました。かなたから、大の人の来る配がしました。ると。一列のでありました。その体はきわめて静で、声一つ立てません。やがて、老人の前を通るときに、青年は、礼をして、薔の花をかいたのでありました。老人は、何かものを言おうとすると、目がめました。それは、全くであったのです。それから一月ばかりしますと、野薔がかれてしまいました。その年の秋、老人は、南の方へひまをもらってりました。言の解 番をする/りをする ろくろくものも言いません/まともなものも言いません。十分におもしません。当たり前に指す/こまを落さないで指す どんなだかしれん/どんな子だか知れません 青年の身の上を案じていました/青年の命を心配してましたかの青年でありました/あの青年でありました 手引き 1 二人の心のび付きがよく表れているところを、ぬきだしてみましよう 2 野薔がかれたことから、どんなことが想像されますか。また「野薔」というがなぜ付けられたのか、考えてみましよう。 3 二人の兵士が仲良になった理由はどのようにかかれていますでしょうか。その理由を、さらにほり下げて考えてみましよう 100Test 下载频道 开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)